

< 都市住民等との交流を実施している事例 >

「ひこばえの森植樹祭」の開催による地域活性化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	岩手県一関市室根町 第1 2 区 <small>いちのせきしむろねちょうだいじゅうにく</small>			
協定面積 51.5ha	田 (66%) 水稻、飼料作物	畑 (34%) 野菜、果樹	草地	採草放牧地
交付金額 623万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	担当者の活動経費		10%
		体制整備に関する活動経費		5%
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費		13%
		農用地維持管理活動経費		6%
		交付金の積積・繰越		16%
		その他		
協定参加者	農業者 83人、非農業者 9人			

2. 取組に至る経緯

当集落は、稲作を中心に葉たばこ、畜産、園芸作物などの複合経営が多い地域である。

今後の高齢化に伴い、経営規模縮小や農地の貸借増加が予想されたことから、集落全体で作業受委託などに取り組むとともに、産直活動による所得拡大を図ることとした。

3. 取組の内容

現在、共同利用機械を購入し、集落内の担い手である認定農業者6名と農家組合が連携して、高齢で農作業ができない農家の水稻作業や畦塗り作業などを受託して、地域営農の効率化を図っている。

また、環境保全活動では、平成5年から始めた集落の矢越山に植樹する「ひこばえの森植樹祭」を開催しており、これまでに13haに28千本の植樹を実施している。

現在では、森は海を育てることの大切さや環境保全につながる全国的なイベントとなり、全国各地との交流が行われている。

さらに、植樹祭や毎月1回開催している産直「こっとなこ市」にて地元の農産物や加工品を販売し、好評を得るなど産直活動にも積極的に取り組んでいる。



「ひこばえの森植樹祭」による都市農村交流



農道補修・清掃

【集落の将来像】

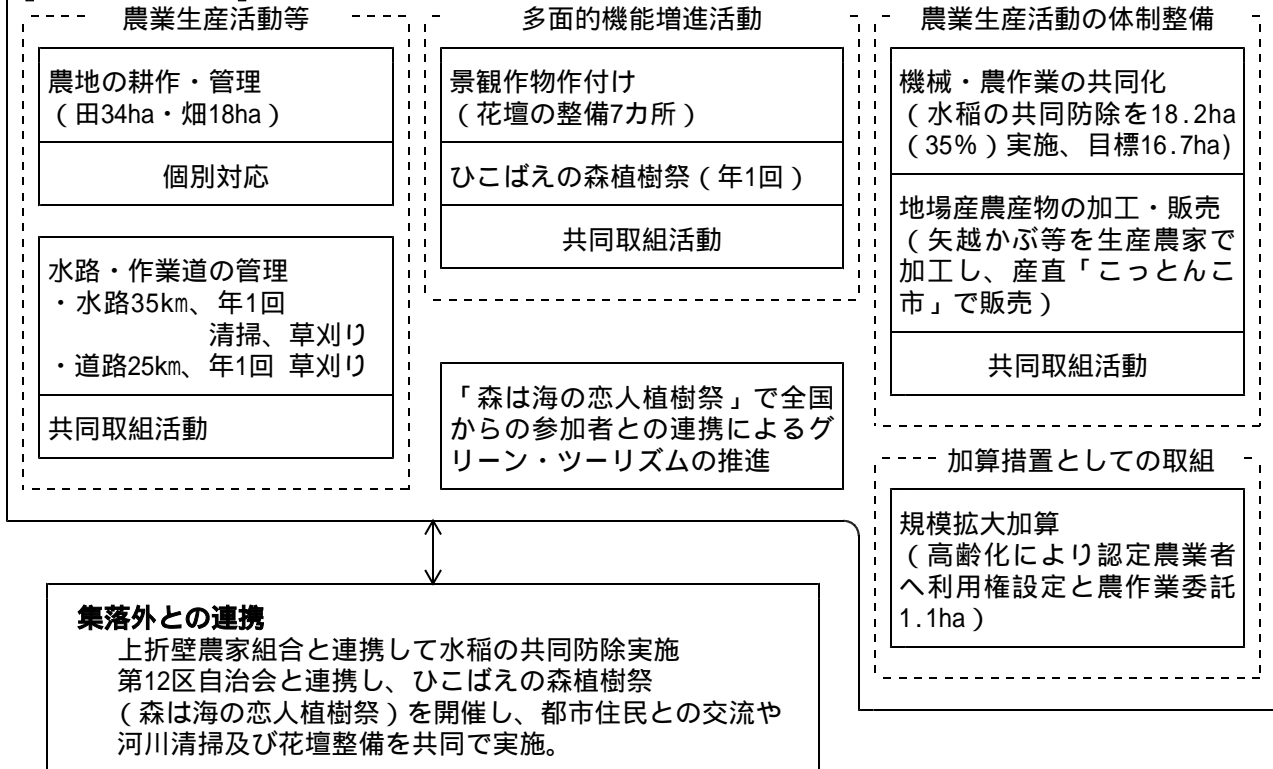
集落の課題を踏まえ、担い手への農地集積や農作業受委託を進めていく。
農作業受託組合を組織し作業の効率化を図る。将来的には集落営農組織として法人化する。
地産地消を推進するため、加工組合設立・加工施設を設置し、特産品開発の取組を推進する。



【将来像を実現するための活動目標】

機械・農作業の共同化及び農作業受委託の面積の拡大に向けた取組を推進
農作業受託組合の設立と法人化に向けた具体策の検討
加工・販売の促進に向け、組織づくりや加工施設の建設にかかる検討

【活動内容】



4. 取組による変化と今後の課題等

認定農業者による農作業毎の班を編制し取り組んだことで、作業の効率化が図られた。

今後は、集落全体で必要最低限まで農業機械を削減し、より一層の共同利用を図り生産コストを図り、さらに転作作物の牧草を家畜飼養農家で有効利用できる仕組みの確立を目指す。

【平成20年度までの主な成果】

ラジコンヘリ共同利用による労働力軽減、効率化 (当初12.1ha、目標16.7ha、H20実績18.2ha)
地場産農産物の加工・販売による農業所得の向上
・矢越かぶ蒸かしやアマランサスを加工し、産直「こっとんこ市」等で販売 (売上高：75万円 (H18)、79万円 (H19)、78万円 (H20))
(H20：加工組合設立、H21：加工施設を建設予定)
都市住民との交流による地域の活性化
・「ひこばえの森植樹祭 (毎年6月開催)」参加者の増加
(H20：対象農地所有者64名、対象農地所有者以外21名、非農家9名が参加)